

■ 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ■

南支社 ☎557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号 ☎大阪 06(652)0001
 北支社 ☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号 ☎大阪 06(301)1251
 堺支社 ☎590 堺市住吉橋町2丁目2番19号 ☎堺 0722(38)1131
 北摂支社 ☎569 高槻市藤0里町39-6号 ☎高槻 0726(71)0361
 阪神支社 ☎662 西宮市和上町4番11号 ☎西宮 0798(26)3101
 東部支社 ☎578 東大阪市稲葉2丁目3番17号 ☎河内 0729(62)1131
 京阪支社 ☎573 枚方市西田宮町16番17号 ☎枚方 0720(41)1251
 神戸支社 ☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号 ☎神戸 078(576)5231
 京都支社 ☎604 京都市中京区烏丸御池御屋町358 ☎京都 075(231)8151
 奈良支社 ☎631 奈良市学園北2丁目4番1号 ☎奈良 0742(44)1111
 和歌山支社 ☎640 和歌山市本町1丁目5 ☎和歌山 0734(31)2481
 姫路支社 ☎670 姫路市神屋町4丁目8 ☎姫路 0792(85)2221
 東播支社 ☎675 加古川市加古川町粟津29-1 ☎加古川 0794(21)1801
 豊岡支社 ☎668 豊岡市三坂町6丁目57番地 ☎豊岡 07962(3)2221
 湖南支社 ☎525 草津市追分町字荒堀68001 ☎草津 0775(62)5311
 彦根支社 ☎522 彦根市大東町12番11号 ☎彦根 0749(22)3131
 (長浜営業所) ☎526 長浜市南呉服町3番4号 ☎長浜 0749(62)7171
 本社ガスビルサービスセンター ☎541 大阪市中央区平野町4丁目1番2号 ☎大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガスせんをしめ、窓を全開にしてから（火気に注意して）
 大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

〈セントラル給湯機能付き〉

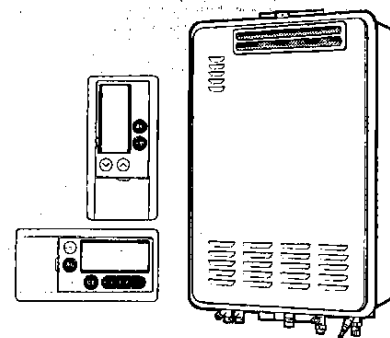
ガス風呂釜

〈ポンプ循環タイプ〉

型式名 FH-16AD(5)

31-233型 (屋外壁掛設置型)

31-234型 (PS設置式標準設置型)



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、
 ご不明な点があればお買い求めの販売店
 にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

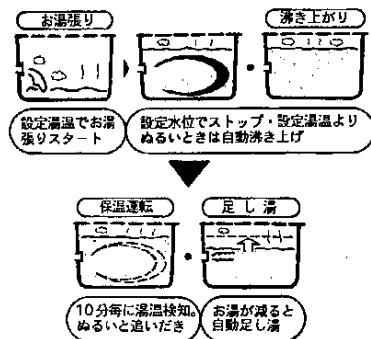
このたびは、大阪ガスのガス風呂釜（セントラル給湯機能付き）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●ごあいさつ・もくじ	1
●特長・機能の紹介	2
●必ずお守りください	3
●各部の名まえと扱い	5
●使用方法	8
●点検・お手入れ	19
●故障かな？と思ったら	20
●仕様	23
●保管とアフターサービス	24
●寸法図	25

特長・機能の紹介

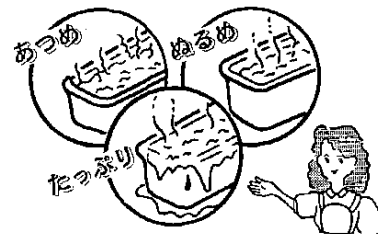


スイッチポンで
お風呂が沸かせます

お湯が冷めたら
自動保温

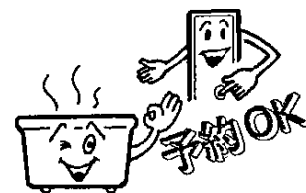
お湯が減ったら
自動足し湯

1 お好みに合わせて「あつめ」、
「ぬるめ」、「たっぷり」のお
風呂が楽しめます



2 コントローラの液晶表示でお
風呂の温度や時間が一目でわ
かります

3 好きな時間にお風呂が沸か
せる予約機能がつきました



4 お風呂の水位も思いどおり
調節できます

必ずお守りください

●使用ガスについてのご注意

- ・ガスの種類を確かめてください。
本体正面前面板にはある銘板に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

メーカー型式 ガスの種類およびグループ ガス消費量 製造年月日および製造番号 製造業者名	<ul style="list-style-type: none"> ●都市ガス用13A ●都市ガス用6C ●LPガス用
--	---

- ・ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ・転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源についてのご注意

- ・電源の電圧と周波数をお確かめください。
この器具はAC100V（60Hz用）です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●用途についてのご注意

- ・給湯およびシャワーおよび風呂沸かし・追いだし以外の用途には使用しないでください。

●器具設置についてのご注意

- ・器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

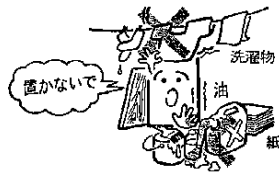
●使用上のご注意

ガス漏れ予防

- ・使用後は逆転スイッチを「切」にしてください。
- ・使用中にガスのおいや、不快なおいがないかときどき確かめてください。

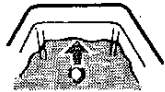
火災予防

- ・器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗濯物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。
- ・排気口の上にタオル、ふきんなどを乗せないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。



空だき防止

- ・追だき（あつめ・ぬるめ・たっぶり）の際には、必ず浴槽の循環口より上に湯（水）が入っていることを確かめてください。



- ・浴槽の循環口をタオル等でふさぎますと循環不良となり、お風呂沸かしはできません。

やけどのご注意

- ・ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の排気口とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に、小さなお子様が居る家庭はご注意ください。
- ・シャワーなど使用後すぐに再度お使になるときは一瞬熱いお湯が出る場合がありますので、ご注意ください。

ガス事故防止

- ・ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。（絶対に使用しないでください）
- ・万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しはしないでください。



凍結についてのご注意

- ・冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
凍結のおそれのある期間は17、18ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

凍結したとき

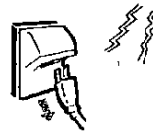
- ・器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。（有料）
凍結したままでは絶対に使用しないでください。
再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具および配管から水漏れがないことを確認後、8ページ「使用方法」の項以下の操作を行ってください。

異常時の処置

- ・ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐ使用をやめて、電源プラグを抜き、ガス元せんを閉めてください。
- ・20～22ページの「故障かな?と思ったら」にしたがって処置を行ってください。

雷雨時のご注意

- ・近くで雷の音が聞こえてきたときは、雷害時の電子部品の破損を防ぐため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。（電源コードが隠込まれている場合は、元のブレーカーで切ってください）
- ・雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



日常の点検・手入れ

- ・日常の点検、手入れを行ってください。（詳しくは19ページをごらんください）
- ・故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
- ・この時、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。

健浴剤や洗剤についてのご注意

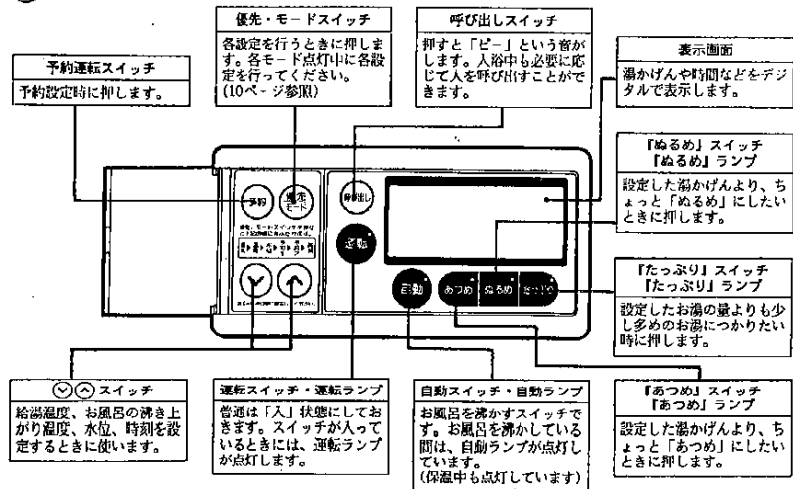
- ・硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

飲用にお使いのとき

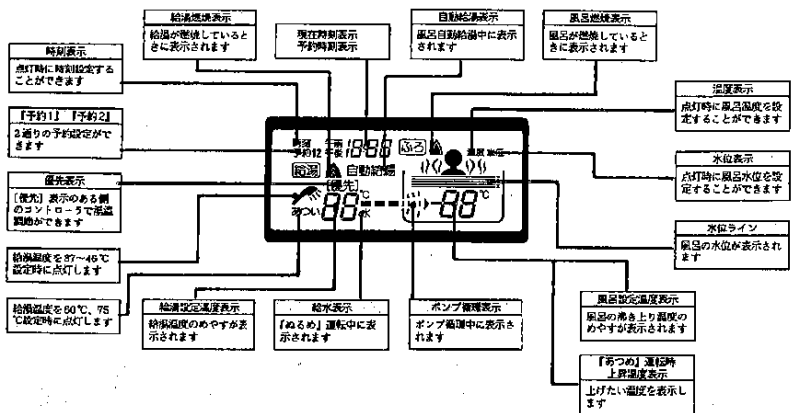
- ・器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理用に用いないでください。

各部の名まえと扱いかた

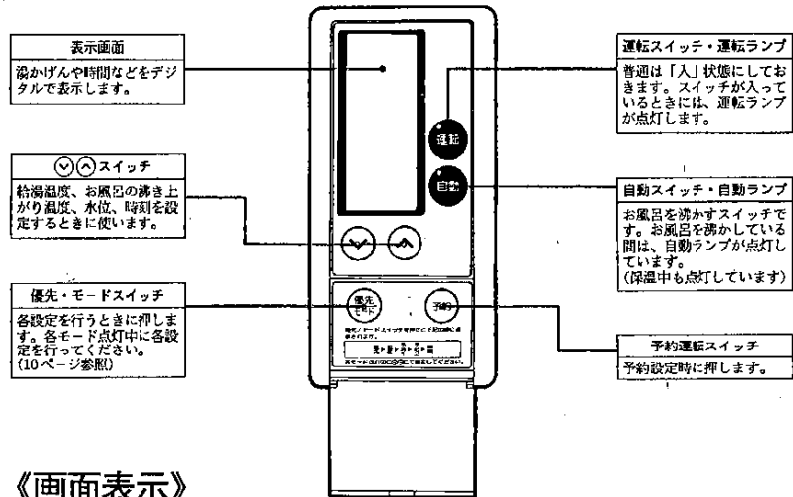
○フロントローラ (お風呂に取り付けるフロントローラ)



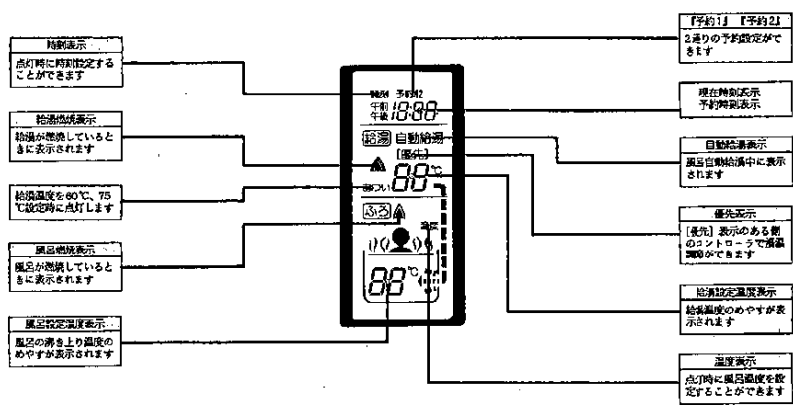
《画面表示》



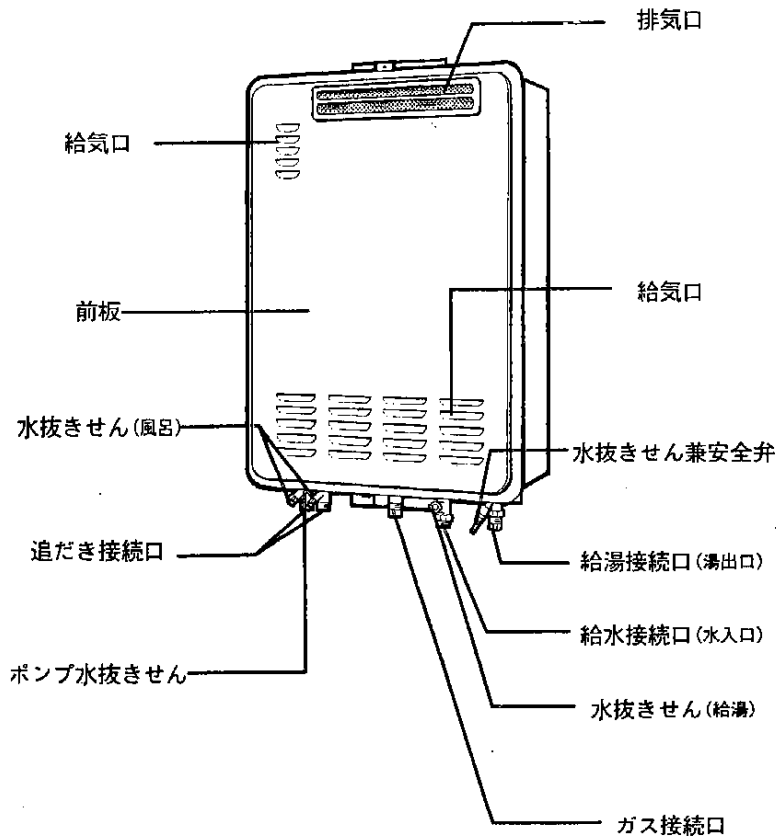
○メインコントローラ (台所などに取り付けるメインコントローラ)



《画面表示》



○器具本体



使用方法・給湯・シャワー

*フロ・メーンコントローラどちらからでも操作できます。

*コンセントが差し込まれているのを確かめてください。

1 運転スイッチを押します

- 運転ランプ(緑)が点灯します。
- 画面にあらかじめ設定してあった湯温(初期設定42℃)が表われます。
- *運転スイッチ「入」にした側のコントローラに【優先】表示が表われます。以後、【優先】表示は、優先・モードスイッチを押した側のコントローラに移すことができます。

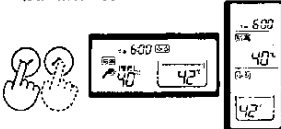
(図はフロコントローラ側から操作した場合を示します。)



2 給湯温度を設定します

- を押すとあつく、を押すとぬるくなります。
- ・37~46(この間1℃ずつ)、48、50、60、75℃に設定できます。
- ・37~46℃ではフロコントローラ側にマークが、60℃、75℃では「あつい」表示が、いずれのコントローラにも表われます。

(例) 給湯温度を40℃に設定した場合

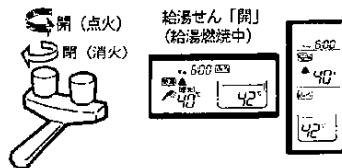


3 給湯せんを開けると、お湯が出ます

- マークが点灯(給湯燃焼中)

給湯せんを閉めると消火します

- マークが消えます。



ご注意

- 【優先】表示のある側のコントローラで湯温調節ができます。湯温調節をしたい場合には、【優先】表示の有無を確認し、表示がない場合には、優先・モードスイッチを押して、【優先】表示を移動させてください。
- *優先機能により、気づかないうちに設定温度が変更されていることがあります。給湯せんを開けた際には、必ず設定温度を確かめてください。
- 給湯せんからの出湯温度は、設置条件(季節・配管長さ等)で異なります。給湯表示はめやすとしてください。
- 給湯せんをしぼりすぎると消火するようになってきます。
- 給湯せんを全開にして使用すると、高温にならないことがあります。(給湯せんを高湯のお湯になるまでしぼってください。)
- 2カ所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯温が不安定になることがあります。(シャワーを使うときは必ず手で湯温を確かめてください。)

使用方法 風呂

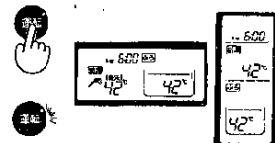
- *コンセントが差し込まれていること確かめてください。
- *浴槽の排水栓を閉じてください。
- *浴槽にフタをしてください。

1 運転スイッチを押します

- 運転ランプが点灯します。
- 画面にあらかじめ設定してあった湯温（初期設定42℃）が表示されます。

*フロ・メインコントローラどちらからでも操作できます。

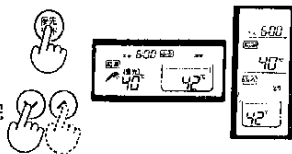
（図はフロコントローラ側から操作した場合を示します）



2 お風呂の沸き上がり温度を設定します

- 優先・モードスイッチを『温度』の表示が表われるまで押します。
- 『温度』表示が点灯し、風呂温度が点滅します。
- 点滅している間に（下）（上）スイッチで風呂温度を調節します。
・37～46（この間1℃ずつ）、48、50℃に設定できます。

（例）沸き上がり温度を42℃に設定した場合



点滅が止まり、『温度』の表示が消えると、設定完了です

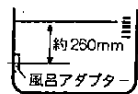
3 浴槽のお湯の量（水位）を設定します

- フロコントローラの優先・モードスイッチを『水位』の表示が表われるまで押します。
- 『水位』表示が点灯し、水位ラインが点滅します。
- 点滅している間に（下）（上）スイッチで水位ラインを上下させます。
・目盛は5目盛。1目盛で35mm変化します。

*フロコントローラで操作してください（メインコントローラでは設定できません）



点滅が止まり、『水位』の表示が消えると、設定完了です



水位の初期設定は左図のように上から2番目の水位ライン（風呂アダプターから約260mm）となっています。

使用方法 風呂

4 自動スイッチを押します

- 自動ランプ（黄）が点灯します。

お湯張りが始まります

- 自動給湯中は右図の表示となります。
（自動給湯中の給湯温度は風呂設定温度と同一となります。）

設定水位になると自動的にお湯張りを停止します

- 自動給湯停止と同時に、ポンプ循環、追いだきに入ります。

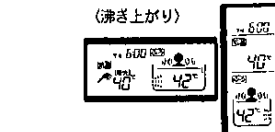
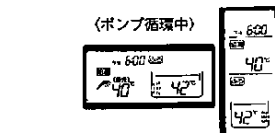
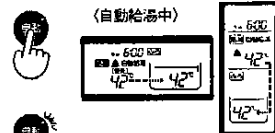
沸き上がるとメロディーでお知らせします

- 沸き上がると右図の表示となります。
- （ポンプ循環）表示は、沸き上がり後、まもなく消えます。

同時に自動保温、自動足し湯運転に入ります

- 10分毎にポンプが作動してお湯をかくはんし、お湯がさめたら自動的に追いだきし、お湯が減ったら自動的に足し湯して、設定温度と水位を保ちます。
- 自動運転は、自動スイッチを押してから4時間後に自動停止します。（自動ランプ消灯）

*フロ・メインコントローラどちらからでも操作できます。



ご注意

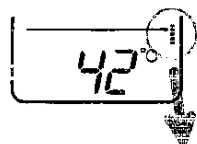
●優先・モードスイッチを押すことによって、下記の順に各モードが表われます。

*
**
【優先】→温度→（水位）→予約1→予約2→時刻

- *【優先】は運転ランプ点灯中のみ表示されます。
- **水位設定はフロコントローラでしか行なえません。
- 各モード点灯中に各設定を行なってください。

水位設定……こんなこともできます

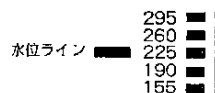
水位目盛は表示上5目盛となっていますが、さらに上に2段階、下に2段階、全部で9段階の水位設定ができます。



●水位ラインが一番上の位置で、さらに水位を上げたいときは……

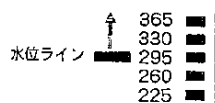
- ① (A) を押しながら (B) を押しつづける (3秒間) と、水位ラインの表示が2段階下がり、その位置が前回の一番上 (風呂アダプターから約295mm) に相当します。
- ② そこから (A) を押すと、さらに2段階上げることができます。

通常、各水位目盛は下図の水位を示します
(図は水位目盛を拡大してあります)



(mm)

上に2段階上げる場合の水位

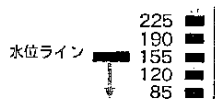


(mm)

●水位ラインが一番下の位置で、さらに水位を下げたいときは……

- ① (C) を押しながら (D) を押しつづける (3秒間) と、水位ラインの表示が2段階上がり、その位置が前回の一番下 (風呂アダプターから約155mm) に相当します。
- ② そこから (C) を押すと、さらに2段階下げることができます。

下に2段階下げる場合の水位



(mm)

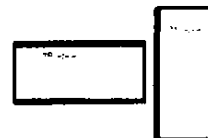
±40mm

時刻設定

*フロ・メーンコントローラどちらからでも操作できます。

電源プラグを差し込むと右図の表示となります。

*コンセントが抜けた場合や停電後の再通電時には右図の表示に戻ります。下記にしたがって再度時刻合わせしてください。



1 優先・モードスイッチを繰り返し押します

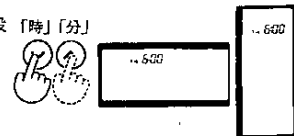
- 優先・モードスイッチを『時刻』の表示が表われるまで押しします。
- ・『時刻』表示が点灯し、現在時刻が点滅します。



2 (E) (F) スイッチで現在の時刻に合わせます

(例) PM8:00に合わせた場合

- 点滅している間に (E) (F) スイッチで現在の時刻に合わせてください。
- ・(E) スイッチで時 (1~12) を、(F) スイッチで分 (00~59) を設定します。
- ・押し続けると数字は連続的に変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



- 点滅が止まり、『時刻』の表示が消えると設定完了です。

午前と午後を間違えないようにご注意ください。

使用方法 『風呂の予約運転』

- * 浴槽の排水栓を閉じてください。
- * 浴槽にフタをしてください。
- * 運転ランプの点灯を確認してください。
- * 現在時刻が合っていることを確かめてください。

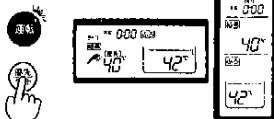
*フロ・メーンコントローラどちらからでも操作できます

◎『予約1』と『予約2』で2つの予約設定ができます

1 優先・モードスイッチを押します

(『予約1』または『予約2』の表示が出るまで押します。)

- 『予約1』または『予約2』が表示され、時刻が点滅します。



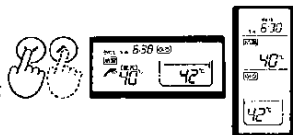
2 時刻合わせスイッチで時刻合わせします

- 点滅している間に、時刻合わせスイッチで沸かし始めたい時刻に合わせます。

時刻合わせスイッチで時を、分を設定します。
 □12ページの「時刻設定」をご覧ください。

(例) PM6:30に風呂自動運転開始に設定した場合

点滅が止まり、『予約1』または『予約2』の表示が消えると、予約運転時刻設定完了です



3 予約運転スイッチを押します

- 予約設定は、完了です。

・『予約1』で設定した場合には、『予約1』表示が、『予約2』で設定した場合には、『予約2』表示が残り、表示された予約の設定時間になると、風呂自動運転を開始します。

(例えば『予約2』で設定した時間に運転を開始したい場合には、『予約2』表示を画面上に出しておきます。)



注意

- 予約を取り消す場合には、予約運転スイッチを押します。(『予約1』または、『予約2』の表示が消えます。)
- 『予約1』、『予約2』の切り替えは、予約運転スイッチで行なってください。

使用方法 『あつめ』機能

*浴槽に湯(水)が入っていることを確認してください。

1 運転ランプの点灯を確認します

- 運転ランプが点灯していないときは、運転スイッチを押して「入」にします。



*フロコントローラで操作してください。

2 『あつめ』スイッチを押します

- 1回押すと風呂設定温度まで沸きあげます。
- 自動運転(自動ランプ点灯)中に『あつめ』スイッチを押すと、『あつめ』ランプ(赤)が点灯し、「+1」表示が点滅します。
- 点滅中に『あつめ』スイッチで上げたい温度を設定します。
 (「+1」～「+5」℃まで設定可能。
 『あつめ』スイッチを1回押す毎に1℃上昇します。)

(例)「+3」℃に設定した場合



*図は自動運転中の「あつめ」(追いだき)運転表示です。

点滅が止まると、設定完了で、追いだきを開始します

3 追いだきが終ると表示は風呂設定温度表示に戻ります

(『あつめ』設定温度はプラスされていません。)

- 『あつめ』ランプが消灯します。
- (ポンプ循環)表示は沸き上がり後、まもなく消えます。



『あつめ』ランプ
消灯

注意

- 『あつめ』運転中に『あつめ』設定温度を変えることはできません。
 (温度を変えたい場合には、一度『あつめ』スイッチを押して、『あつめ』運転を停止させ、再度、上記の操作を行なってください。)
- 途中で止めたい場合には、再度『あつめ』スイッチを押してください。
 『あつめ』ランプが消灯します。

使用方法 『ぬるめ』機能

* フロントローラで操作してください。

1 運転ランプの点灯を確認します

- 運転ランプが点灯していないときは、運転スイッチを押して「入」にします。

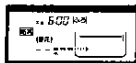


2 『ぬるめ』スイッチを押します

- 『ぬるめ』ランプ（緑）が点灯します。



〈自動給水中〉



3 浴槽内に1分間（約10ℓ）、水を給水し、自動的に停止します

- 自動給水終了で、『ぬるめ』ランプは消灯します。



『ぬるめ』ランプ
消灯



ご注意

- 途中で止めたい場合には、再度『ぬるめ』スイッチを押してください。『ぬるめ』ランプが消灯します。

使用方法 『たっぷり』機能

* フロントローラで操作してください。

1 運転ランプの点灯を確認します

- 運転ランプが点灯していないときは、運転スイッチを押して「入」にします。



2 『たっぷり』スイッチを押します

- 『たっぷり』ランプ（黄）が点灯します。



3 2分間（約20ℓ）お湯を足し、自動的に停止します

- 足し湯終了で『たっぷり』ランプは消灯します。



『たっぷり』ランプ
消灯



ご注意

- 途中で止めたい場合には、再度『たっぷり』スイッチを押してください。『たっぷり』ランプが消灯します。

使用方法 凍結予防方法

●冬期には給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。

1

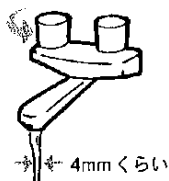


凍結予防のため、電源プラグは抜かないでください

- この器具は、外気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動し器具内を保温します。
 - この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますのでご注意ください。
- *配管部分の凍結まで予防できませんので、必ず保温材を巻きつけてください。

2 通水による方法

●この場合、器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。



1. 運転スイッチを「切」にします。
2. 給湯せんを開け、少量の水（1分間に約200c.c.程度）を流したままにしておきます。
3. 流量が不安定になることがありますので、約30分後に再度流量を確認してください。

*寒い日には多めに水を流してください。
*電源プラグは抜かないでください。

ご注意

●停電時や長期不在の場合、または異常寒気ときは、「器具内の水を抜く方法」で凍結予防してください。

使用方法 凍結予防方法

3 器具内の水を抜く方法

長期不在・異常寒気の場合は次の手順で器具内の水を抜いてください。

●ガスせんは閉めておきます。

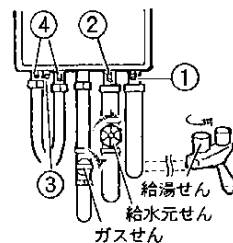
給湯

1. 給水元せんを閉めます。
(寒冷地域などで不凍せん使用時は不凍せんを閉め、給水元せんを全開にします。)
2. 全ての給湯せんを全開にします。
3. 水抜きせん兼安全弁①と水抜きせん②をはずします。水が抜けます。

風呂

1. 浴槽の排水せんをはずし排水します。
2. フロントローラの運転スイッチ・「あつめ」スイッチを「入」にして、5分間程そのままにしておきます。循環口より水が抜けます。
3. 運転スイッチを「切」にします。
4. 器具本体のポンプ水抜きせん③をゆるめ、水抜きせん④（2個）をはずします。水が抜けます。

●電源プラグを抜き、再度使用するまでこのままにしておきます。



水抜き後の使用方法

●電源プラグをコンセントに差し込みます。

給湯

1. 水抜きせん兼安全弁①と水抜きせん②を閉めます。
2. 給水元せんを開け、給湯せんより水が出ることを確かめてからいったん水を止めます。(通水確認)

風呂

1. ポンプ水抜きせん③と水抜きせん④（2個）を閉めます。
2. 運転スイッチ・自動スイッチを「入」にし、浴槽に給湯されることを確認してください。

●以上の操作が終わったらガスせんを開け、「使用方法」にしたがってご使用ください。

点検・お手入れ

○点検・お手入れの際のご注意

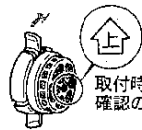
- 器具を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・手入れを必ず行ってください。
- 点検・手入れの際には、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行ってください。
- 器具およびコントローラはフタを開けないでください。(故障の原因になりますので絶対に分解しないでください。)

○点検

- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 運転中に異常音は聞こえますか。
- 器具や配管からの水漏れはありませんか。
- ガス臭くありませんか。

○お手入れ

- 外装の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。(タワシやブラシなどでこすらないように注意してください。)
- フィルターの掃除
浴槽の湯止めキャップのフィルターを定期的に(1月に1回以上)掃除してください。目づまりすると風呂湯かししない原因となります。
*フィルターを掃除したあとは必ずもとのように取り付けてください。



手前に引くとはずれる

コントローラの掃除

- コントローラの表面が汚れたときは、十分水を絞った布で拭いてください。(かわいた布で拭いた場合、液晶画面が乱れることがありますので故障ではありません。) 放置しておくともとの状態に戻ります。

*コントローラの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。

点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は、運転スイッチを「入」にし、給湯せんを開け、器具が正常に作動しているか確認してください。
- 万一、異常な燃焼、異常音、異臭などが感じられたときは、お買い求めの販売店または大阪ガス社社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

- 器具のご使用に支障がなくても、2~3年に1回ぐらいバーナや各部の作動が「正常」かどうか定期点検をするのが安全で長期間使用していただくための、「ひけつ」です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス社社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

現象 原因	処置方法								お客さま	販売店または大阪ガス支社	
	運転ランプが点灯しない	給湯せんをあげてもお湯が出ない	使用中に水になる	高温のお湯が出ない	低温のお湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	給湯燃焼表示(▲)が出ない	風呂燃焼表示(▲)が出ない			風呂が沸かない、または沸きがおそい
電源プラグがはずれている	○	○					○	○	プラグをコンセントに差し込む	*	
ガス元せんの開き不十分		○	○	○		○	○	○	ガス元せんを全開にする	*	
給水元せんの開き不十分		○	○			○	○		給水元せんを全開にする	*	
配管内に空気が残っている		○	○				○	○	点火操作を繰り返す	*	
断水している		○					○		使用をいったん中止する	*	
凍結している		○					○		解凍するまで使用を中止する	*	
給気口・バーナ突口・熱交換器・ノズルの目づまり		○	○	○			○	○	点検を依頼する		*
安全装置が作動		○	○				○	○	点検を依頼する(度々作動する場合)		*
電気部品の故障	○	○	○	○	○	○	○	○	点検を依頼する		*
停電	○	○	○				○	○	再通電するまで待つ	*	
湯温調節が適切でない		○		○	○	○	○		操作方法を確認してください		*

このほかに異常があるときやおわかりにならないときは、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス社社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

○異常モードナンバーをお調べください

- ご使用中に不具合が生じ、運転を停止した場合には、ブザーがなり、ランプが点滅し、液晶画面が異常モードナンバーを表示します。給湯せんを開め、コントローラのスイッチを「切」にして再度出湯操作してください。
- それでも直らない場合は、ガスせん・給水元せんを閉め、電源プラグを抜いてお求めの販売店か、大阪ガス社にご連絡ください。(異常モードナンバーをお知らせください。)

- *給湯側の異常モードナンバーは、給湯温度表示部に表示されます。
- *風呂側の異常モードナンバーは、風呂温度表示部に表示されます。

異常モードナンバー	内 容	対 処
03	浴槽の排水せん忘れ	●浴槽の排水せんが閉めてあるか確認してください。
11	不着火	●ガスの供給が不十分なときに作動することがあります。(ガスせんは全開になっていますか)
12	途中失火 (立消え安全装置の作動)	
14	過熱防止装置の作動	●器具が冷えるのを待ってから (約3分) 出湯操作してください。
15		
25 (風呂側)	循環ポンプの不具合	●浴槽に水が十分入っているか確認してください。
25 (給湯側)	自動給湯の不具合	●点検・修理が必要です。
33	給湯出湯温度センサー系統の不具合	
34	風呂循環温度センサー系統の不具合	
51	電磁弁・元電磁弁の不具合	
61	ファンモータの不具合	
71	電磁弁回路の不具合	
72	フレームロッドの不具合	
74	コントローラ系統の不具合	
75		
76		
P1	ガス種コネクタの不具合	

故障かな?と思ったら

○次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理 由
給湯せんをしぼりすぎて水になった	この器具は流量量が2ℓ/分以下になったときには消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。 給湯せんをもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
排気口から白い煙が出る	外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
液晶画面が乱れている	コントローラを乾いた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。しばらくそのままにしておくとなおります。
液晶画面が ** --- になっている	停電後、再通電すると液晶画面の表示が ** --- になります。再度、設定しなおしてください。
給湯停止後もファンが回転している	これは再使用時にお湯を早く出すためです。約3分後に停止します。

○安全装置の種類とその働き

- 立消え安全装置……バーナが正常に燃焼しないとき、作動し、ガスを自動的にストップします。
- 過熱防止装置……器具内の温度が異常に高くなったときはこの安全装置が働いて自動的にガスをストップします。
- 空だき安全装置……熱交換器が異常な温度上昇をしたときはこの安全装置が働いて自動的にガスをストップします。
- 空だき防止装置……器具内や風呂釜内に水がない場合、ガス通路をあけず、空だきにならないようにします。
- 過圧防止安全装置……器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが故障ではありません。このような場合には床面を濡らしますので不都合が生じるときは、過圧逃し弁の排水処置が必要です。お買い求めの販売店、または、もよりの大阪ガス社にご連絡ください。
- 漏電ブレーカー……万一、漏電した場合、電源を「切」にします。
- 凍結予防装置……17、18 ページの「凍結予防方法」の項をご覧ください。

仕様

商品の呼び		31-233/234型	
種類	設置方式	屋外設置型	
	給湯方式	先止め式	
点火方式		連続スパーク点火	
水圧	使用水圧	0.8~10.0kg/cm ²	
	最低作動水圧	0.1kg/cm ²	
最低作動流量		2ℓ/分	
外形寸法		高さ615×幅430×奥行190 mm	
重量 (本体)		30kg	
接続	追いだし (行き戻り)	G $\frac{1}{4}$ A (15A)	
	給水	R $\frac{1}{2}$ (15A)	
	給湯	R $\frac{1}{2}$ (15A)	
	ガス	都市ガス R $\frac{3}{4}$ (20A)、LPガス R $\frac{1}{2}$ (15A)	
電気関係	電源	AC100V (60Hz)	
	消費電力	160W (凍結予防作動時 225W)	
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・空だき防止装置・空だき安全装置 過圧防止安全装置・漏電ブレーカー・凍結予防装置	

使用ガス 使用ガスグループ	毎時ガス消費量	出湯能力 (最大時) ℓ/分					
		給湯	風呂	同時使用	上昇温度		
					25℃	40℃	55℃
都市ガス (kcal/h)	6C	30000	12000	40000	(16.0)	10.0	7.2
	13A	30000	12000	40500	(16.0)	10.0	7.2
LPガス (kg/h)		2.5	1.0	3.35	(16.0)	10.0	7.2

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

保管とアフターサービス

○長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1) ガスせんをしめる
- (2) 給水元せんをしめる
- (3) 電源プラグを抜く
- (4) 器具の水抜きを行なう (水抜き方法は18ページを参照してください)

○アフターサービスについて

サービスを依頼される時

●まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けのときは次のことをお知らせください。

1. ご住所・お名前・電話番号・道順 (付近の目印等)
2. 品名…31-233/234型
(右のようなラベルが器具の左面下部に貼り付けてあります。)
3. 現象…できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

〈例〉

(N) 31-233 (U)

大阪ガス株式会社 [09]

(N) 31-234 (U)

大阪ガス株式会社 [08]

転居される場合

●ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

●このガス風呂釜には保証書がついています。

●保証書に記載のように、ガス風呂釜の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証書を紛失されますと、無料保証期間内でも修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

●無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

●補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。

その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。